

## 文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第23回）議事概要

開催日及び場所	平成25年6月24日（月） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授）  ○委員 清水 幹裕委員（弁護士） 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成25年1月1日～平成25年3月31日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成24年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	6件	
最低価格方式	3件	
総合評価方式	3件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	4件	
企画競争	1件	
公募	1件	
競争性のない随意契約	2件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成24年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 平成24年度先導的<sub>1</sub>大学改革推進委託事業「博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究」【一般競争入札（総合評価落札方式）】（高等教育局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年度に亘る継続事業の委託先を総合評価による一般競争入札で選定しているが、予算が単年度の措置であることから、価格点については事業期間全体で評価することができないため、事業者の選定方法として妥当であったのか疑問である。</li> </ul> <p>② 平成25年度用教科書給与用紙袋の配送業務一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一者応札を改善できる見通しはあるのか。</li> <li>・事業の特殊性により価格面での競争が成立しないため、本件で複数の応札者を確保するのは難しいのではないか。</li> </ul> <p>③ 防犯教室用の小学校低学年向けリーフレットの梱包発送一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の対応を含め検討したうえで、次回の委員会で回答させていただきたい。</li> <li>・複数業者からのヒアリング結果では、現在の契約額（落札価格）では入札に参加しても勝てる見込みがなく、参加するメリットがないとのことであった。</li> <li>・随意契約とする理由がないので、引き続き、公告期間の長期化を図るなど、工夫しながら一般競争入札を実施していきたい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・初度の入札公告では参加者が無く、再度公告でも一者応札であったが要因はなにか。</li> <li>・年度末に配布することが分かっていたのであれば、もっと早く調達手続きを行えば複数の参加者があったのではないか。</li> </ul> <p><b>④ 在外教育施設派遣教員の米国滞在査証(J査証)取得のための資格(DS-2019)の発行手続き及び更新手数料 一式【随意契約(公募)】(大臣官房会計課)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容的に受注可能な者が1者しかいないことから、公募をせずに随意契約を締結してよかったと思われるが、なぜ公募を行ったのか。今後は、どうするのか。</li> </ul> <p><b>⑤ 公立学校施設整備費補助金等の執行事務管理システムの改修業務 一式【随意契約(競争性のない随意契約)】(大臣官房会計課)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格の積算において、工数が見積りが出てきた工数より高い工数を用いて計算しているが、なぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初度の入札説明会で2者の参加があったが、履行期間が年度末であることから事業に要する倉庫の確保等の調整が難しく、いずれも入札を見合わせたとのこと。一方で再度公告では一者の方で調整がついたため、入札に参加できたと聞いている。</li> <li>・新しい小学1, 2年生の人数を、教育委員会を通して調査しているが、余り早く調査をかけてしまうと正確な人数を把握することが難しくなる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、対応可能な者が1者しかいないという情報を得ていなかったため、一般競争入札を行ってきた。そういった経緯もあり、念のため随契事前確認公募を行った。今後は、契約の相手方が米国政府から指定されている一者に特定されていることが確認できたので随意契約とする。</li> <li>・これまでの実績、システムの規模を勘案してこれぐらいのものが必要であろうという想定で算出している。</li> </ul>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利保護の関係から他の業者の参入は不可能ということか。</li> </ul> <p><b>⑥ 宇宙新興国における宇宙人材育成等の協力手法に係る調査研究【一般競争入札（総合評価落札方式）】（研究開発局）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札説明会には3者来ていたが、結果的に1者応札となった要因は何か。</li> <li>・審査員の加点評価が低いようだが、問題はないのか。</li> <li>・どのような観点で加点を付与するのか決まりはあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・然り。</li> <li>・宇宙開発に関する人材育成という特殊性によるものと思われる。</li> <li>・加点するまでの評価を頂けなかったということであるが、基礎点を満たしていれば、仕様書の条件を満たしているので問題はないと考えている。</li> <li>・加点付与基準を作成し、審査の際に各委員に配布して、説明を行っている。</li> </ul>
<p><b>⑦ 原子力損害賠償の事例研究事業【随意契約（競争性のない随意契約）】（研究開発局）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託費の内訳の多くが雑役務費になっているが、内容は何か。</li> <li>・雑役務費の見積もりは、人日等から算出したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に原子力損害賠償解決センターにおける和解実例の分析を行う弁護士への請負業務費である。</li> <li>・1件当たりの分析に要する時間数に、件数を乗じて算出した。</li> </ul>
<p><b>⑧ 平成25年度全国学力・学習状況調査解答用紙（中学校）の印刷【一般競争入札（最低価格落札方式）】（国立教育政策研究所）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と同じ2者が応札しているのは、調査回答用紙の印刷が特殊な作業だからなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機密性の高い印刷が必要とされるため、対応できる者が限られる。その上、同時期には試験問</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、落札率が低いようである。予定価格については、契約実績も考慮するなど、1者応札となった場合に落札価格が高止まりすることがないよう、リスク回避について検討いただきたい。</li> </ul> <p><b>⑨ 再生可能エネルギー導入を促進するための科学技術動向の調査【一般競争入札（総合評価落札方式）】（科学技術政策研究所）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このテーマであれば複数者の応札があるように思うが、一者応札となった要因はなにか。</li> <li>・予定価格算定について、旅費のみ参考見積書の金額に比べ低いのはなぜか。</li> <li>・仕様書で求めている、「産業連関分析」とはなにか。必要な要件なのか。</li> </ul> <p><b>⑩ スクールカウンセラー等の緊急派遣【随意契約（企画競争方式）】（初等中等教育局）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募があった全者と契約しているようであるが、審査において合否の基準点を定めているのか。</li> </ul>	<p>題や債券等の印刷需要と重なっており、この2者以外が当案件に対応できなかった可能性もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・了解した。競争性の確保についても努力したい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業者からのヒアリングでは、シンクタンク系の業者にもやはり得手不得手があり、今回、エネルギー関係に重点化したことが影響しているようである。</li> <li>・旅費法に基づいた積算価格より参考見積書の価格が高かったため、査定を入れた。それ以外の単価については妥当と判断した。</li> <li>・今後の科学技術の動向を、調査結果と法人のもつ日頃の研究成果と合わせて分析したものを成果物として求めるもので、必要な要件である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準は設けていないが、審査において委託先として不適切等との指摘があれば調整することとし、適切となるよう計画書を修正することになる。これまで、そういった指摘がなかったので全者と契約した。</li> </ul>
--	---

- ・応募者すべてに委託しているが、提示額をすべて受け入れているのか。
- ・契約通りのカウンセリングがなされたか、実質的チェックはどのようにしているか。

**【総括】**

- ・個別に検討を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。

- ・委託費総額の基準は設けていないが、派遣されるカウンセラー等の時給に基準を設けている。
- ・実績報告書や支払明細や会議次第等により過払い金があるかも含め、チェックしている。また、費用対効果について、学校に対してアンケート調査の実施を検討している。